やまぐちユニセフ通信

No.20　2022年冬号

≪発行≫
山口県ユニセフ協会

unicef
for every child

引き続きウクライナ緊急募金にご協力ください。

（ウクライナ危機）
東欧・中央アジアで子どもの貧困19％増加　ウクライナでの紛争と経済危機の影響

2022年10月17日ジュネーブ発

ユニセフ（国連児童基金）は、ウクライナでの紛争とインフレの進行が東欧および中央アジアの国々の子どもの貧困に与える影響に関する新たな調査結果を発表しました。

東欧・中央アジアで子どもの貧困19％増加

調査によれば、東欧・中央アジア地域の子どもの貧困が昨年から19％増加し、400万人の子どもが新たに貧困状態に追い込まれています。また、ウクライナでの紛争による経済危機で最も大きな負担を強いられているのは子どもたちであることが、調査対象となった22カ国のデータから明らかになりました。子どもたちはこの地域の人口の25％を占めていますが、今年新たに貧困を経験することになった1,040万人のうち、40％近くが子どもです。

貧困の中で暮らす子どもの数が最も顕著に増加したのはロシアで、新たに280万人の子どもが貧困ライン以下の世帯で暮らしています。これは、地域全体の増加分の4分の3近くを占めています。次いで、ウクライナでは50万人の子どもが新たに貧困状態に陥り、2番目に大きな数値となっています。3番目はルーマニアで、11万人の子どもが新たに貧困状態に陥りました。

ユニセフ・欧州・中央アジア地域事務所代表のアフシャン・カーンは、「ウクライナ紛争は、殺傷と大規模な避難といった明白な恐怖だけでなく、東欧・中央アジア地域の子どもたちに壊滅的な影響を与えています。この地域全体の子どもたちが、この紛争の悲惨な余波に飲み込まれているのです。今、こうした子どもたちや家族を支援しなければ、子どもの貧困の急増により、ほぼ間違いなく子どもたちは、命を失い、学びを失い、未来を失うことになるでしょう」と述べています。

© UNICEF
ハルキウ郊外にある仮設の共同住居で暮らす家族。爆撃から逃れるために避難しており、ユニセフの支援を受けている。

子どもの貧困の急増がもたらす影響

子どもの貧困の急増がもたらす影響は、家庭が直面している経済的苦境をはるかに超えて及ぶ可能性があります。今年だけでも、4,500人の子どもが1歳の誕生日を迎える前に命を落とし、11万7,000人の子どもが学校を中退するのに等しい、学習機会の喪失が発生する可能性があります。

貧しい家庭ほど、収入から食料や燃料などの必需品に充てる割合が高くなります。基本的な商品の価格が高騰すると、医療や教育など他のニーズに向ける資金が減少します。ウクライナでの紛争とそれに続く生活費の危機は、最貧困層の子どもたちが必要なサービスを受けられず、暴力、搾取、虐待のリスクにさらされる可能性がさらに高まることを意味しています。

ユニセフは、東欧・中央アジアの高・中所得国における社会的保護の仕組みの強化に向けた支援の継続と拡大、および脆弱な子どもや家庭に対する現金給付を含む社会的保護プログラムのための支出を優先させることを求めています。

＊＊＊＊＊

ウクライナの戦闘激化から7カ月が過ぎた今なお、収束は見えていません。困難な状況が続く中、ユニセフは、ウクライナ国内および難民を受け入れている周辺各国で、避難場所や衣服、食料、医薬品の提供にとどまらず、教育支援や心のケアなど、子どもたちや困窮する家族のための支援を継続して届けています。
避難を余儀なくされ、教育の機会を奪われ、恐怖におびえ心身ともに影響を受けている子どもたちとその家族に、人道支援を届けるため、ご協力をお願い申し上げます。

●全国の郵便局（ゆうちょ銀行）窓口からお振込みできます。
振替口座：00190-5-31000
口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会
*通信欄に「ウクライナ」と「Ｋ１－３５０」と明記ください。
*窓口でのお振込は、送金手数料が免除されます。
*寄付は所得税・相続税・法人税の税制上の優遇措置があります。

日本ユニセフ協会
ウクライナ緊急募金特設ページ

山口県ユニセフ協会

活 動 紹 介

新型コロナ感染によりこの2年半大きく制約を受けましたが、感染防止対策を取りながながら、徐々に様々な活動への再開を進めています。
誰もが参加できる募金活動「ユニセフ ハンド・イン・ハンド」も今年は3年ぶりに開催できるとのこと。県協会でも11月・１２月ボランティアスタッフによる県内7ヵ所での街頭募金活動を計画しています。（詳しくは４ページをご覧ください）

●ユニセフパネル展を開催しました！

コロナ感染リスクの低い広報活動「パネル展」。今年はそのパネル展の開催数を昨年よりも増やそうと計画し、各方面に協力をお願いしたところ、この秋も新たな地域・施設でパネル展を開催することができました。

各パネル展ともに、ユニセフ活動の紹介パネル「ユニセフってなあに？」の展示を基本に、ウクライナ緊急募金のお知らせポスターも掲示し、ご協力を呼びかけました。

●周東中学校でのパネル展

岩国市立周東中学校
１０月７日（金）～　１０月２０日（木）

生徒のご家族やお知り合いも訪れる文化祭に合わせてパネル展およびユニセフの支援活動ツール等の展示をおこないました。

●周防大島町でのパネル展

周防大島町文化センター
１０月１３日（木）～　１０月２７日（木）

今年は県内１３市4町すべての行政単位でパネル展を開催しよう！とお声がけしたところ、周防大島町にも快諾いただき、同町で初めて開催することができました。
また、どの市町も来年以降も継続的・定期的にパネル展開催にご協力いただけるとのこと。
開催予定は本誌で事前にお知らせしますので、お住いの地域での開催の際は是非足をお運びください。

●宇部まつりに出展しました！

コロナ禍で中止となっていた各市町でのイベントも少しずつ再開の兆し。宇部まつりも3年ぶりにリアル開催（昨年はリモート開催）されたので、県協会も出展しました。

●宇部まつり（宇部市中央町一帯にて）

11月６日（日）

秋晴れの中、3年ぶりとなる「宇部まつり」が開催され、宇部市民多くの方の参加で賑わいました。
山口県ユニセフ協会も、今年で3回目となる出展。「ユニセフってなぁに？」のパネル展示に合わせ、ＳＤＧｓをテーマにしたゲームをおこないました。
学校でＳＤＧｓについて学習機会があった子どもたちも多く、興味をもってゲームに参加してくれました。
また、ウクライナ緊急募金のお知らせに、多くの方から善意を寄せていただきました。

●ユニセフ出前授業をおこないました！

厳しい状況にある世界の子どもたちのことや、その支援をおこなっているユニセフとその活動のことを知っていただく上で、今後最も重点的に取り組みたいと考えているユニセフ出前授業。
ボランティアスタッフ全員が講師を務められるよう勉強会もおこない、出番を待っています。
少人数でもお伺いします。お気軽にお申し出・お問合せください。

●新田コープ委員会での出前授業

防府市仁井令　コープやまぐちグループハウス「はなまる」
１１月４日（金）

●ＤＶＤを使っての学習

●ワークショップ「紙袋作り」の風景

●ユニセフ
基礎リーフレットの説明

コープやまぐちの防府市「新田コープ委員会」さんからリクエストがあり、ユニセフ出前授業をおこないました。
授業は1時間でしたが、皆さんから要望のあったワークショップ「インドの紙袋作り」をメインに、ＤＶＤ「ユニセフと世界の友だち」視聴や「ユニセフ基礎リーフレット」を使っての世界の子どもたちの状況やユニセフの支援活動報告と充実した時間を持てました。
質問も含め、参加者全員熱心に学習していただけました。

●「ユニセフパネル展」を開催してみませんか？！

山口県ユニセフ協会では、**ユニセフ**のこと、**世界の子どもたち**のこと、を知っていただきたい。そしてそのことを通じて**平和**や**しあわせ**を考えていただきたいと、**パネル展**を積極的に開催しています。
展示場所さえお貸しいただければ、設営等はボランティアスタッフがおこないます。
■ご連絡・お申込みは、４ページに記載の電話またはメールにてお願いします。

●パネル・視聴覚ツール

＊パネルはスペースやテーマに応じて、複数ご用意できます。
＊視聴覚ツールとしてＤＶＤも各種ありますので、お申し出いただければ貸し出しもおこないます。

●その他ツール

＊マラリアを媒介する蚊を防ぐためにユニセフが提供している蚊帳や、ネパールで衛生的な水の確保のために使われている水瓶（児童労働にもつながる）などの現品も貸し出しできます。

山口県ユニセフ協会の

今からの予定

●ユニセフの歳末募金活動「**ハンド・イン・ハンド**」。新型コロナウイルス感染の影響により3年ぶりとなりますが、今年は本格的に展開を予定しています。県協会スタッフによる街頭募金活動も下記の通りおこないます。ご協力を参加をお願いします。

●「ハンド・イン・ハンド」 県協会スタッフによる街頭募金活動予定

～ハンド・イン・ハンドって？～

”手に手をとって”を意味するユニセフ　ハンド・イン・ハンド募金の特色は、誰もがユニセフ・ボランティアとして参加できることです。
1979年の国際児童年にはじまり、今年で44回目を迎えます。
毎年11月～12月をハンド・イン・ハンド募金キャンペーン期間とし、ユニセフを支援してくださる全国のみなさまが、街頭やイベントで、職場や学校で、またご家庭の中で、工夫を凝らしてユニセフ募金活動を行なってきました。

HandinHand

参加の仕方を含め、詳しくは
ハンド・イン・ハンド｜日本ユニセフ協会 (unicef.or.jp)
を検索ください。

県協会スタッフの街頭募金活動予定

●宇部「コープやまぐちここと宇部店」・・・・・・11月19日(土)10:00～11:30
●萩「JA山口萩ファーマーズマーケット」・・・・・11月26日(土)10:00～11:30
●山口「コープやまぐちここといずみ店」・・・・・11月26日(土)13:30～15:00
●周南「JR徳山駅駅前」・・・・・・・・・・・・・・・・・・12月　3日(土)10:00～11:30
●岩国「JR岩国駅駅前」・・・・・・・・・・・・・・・・・・12月　3日(土)13:30～15:00
●下関「コープやまぐちここと新下関店」・・・・・12月11日(日)10:00～11:30

●ユニセフ「クリスマス会」開催予定　毎年大好評・今年は下関！

お問合せ・参加申し込みは
下記山口県ユニセフ協会まで！

- **日時：12月11日（土）　13:30～15:30**
- **場所：下関市ここと新下関店集会室**
- **内容：クリスマスリースを作ろう！（材料・工具はすべて事務局が用意します）**
- **定員：子どもと保護者で30名まで　＊先着順となります　お申込みはお早めに！**
- **参加費：お一人300円（子ども・大人同額）　＊参加費は全額ユニセフへ募金します**

●賛助会員募集してます！

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助会費によって支援いただく方法です。
現在山口県でも多くの賛助会員の方にご協力いただいています。
山口から世界の子どもたちを支えましょう！

種　類	対　象	賛助会費
一般賛助会員	個　人	一口　5,000円
学生賛助会員	学生（18歳以上）	一口　2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	一口　100,000円

＊賛助会員期間は入会月より1年間です。賛助会費は寄付金控除の対象になります。
＊一般・学生賛助会員は個人名でのお申込みに限らせていただきます。

山口県ユニセフ協会

〒753-0083
山口市後河原２１０番地
TEL083-902-2266
FAX083-928-5416
E-mail：info@unicef-yamaguchi.jp
URL：https//www.unicef-yamaguchi.jp

県協会地図

ボランティア登録、資料請求、その他お問い合わせ等は、事務局までご連絡ください。
また、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。
受付日　：　月・火・水・木・金
受付時間：　１０：００～１６：００
山口県教育会館の裏になります。